

2018年12月期

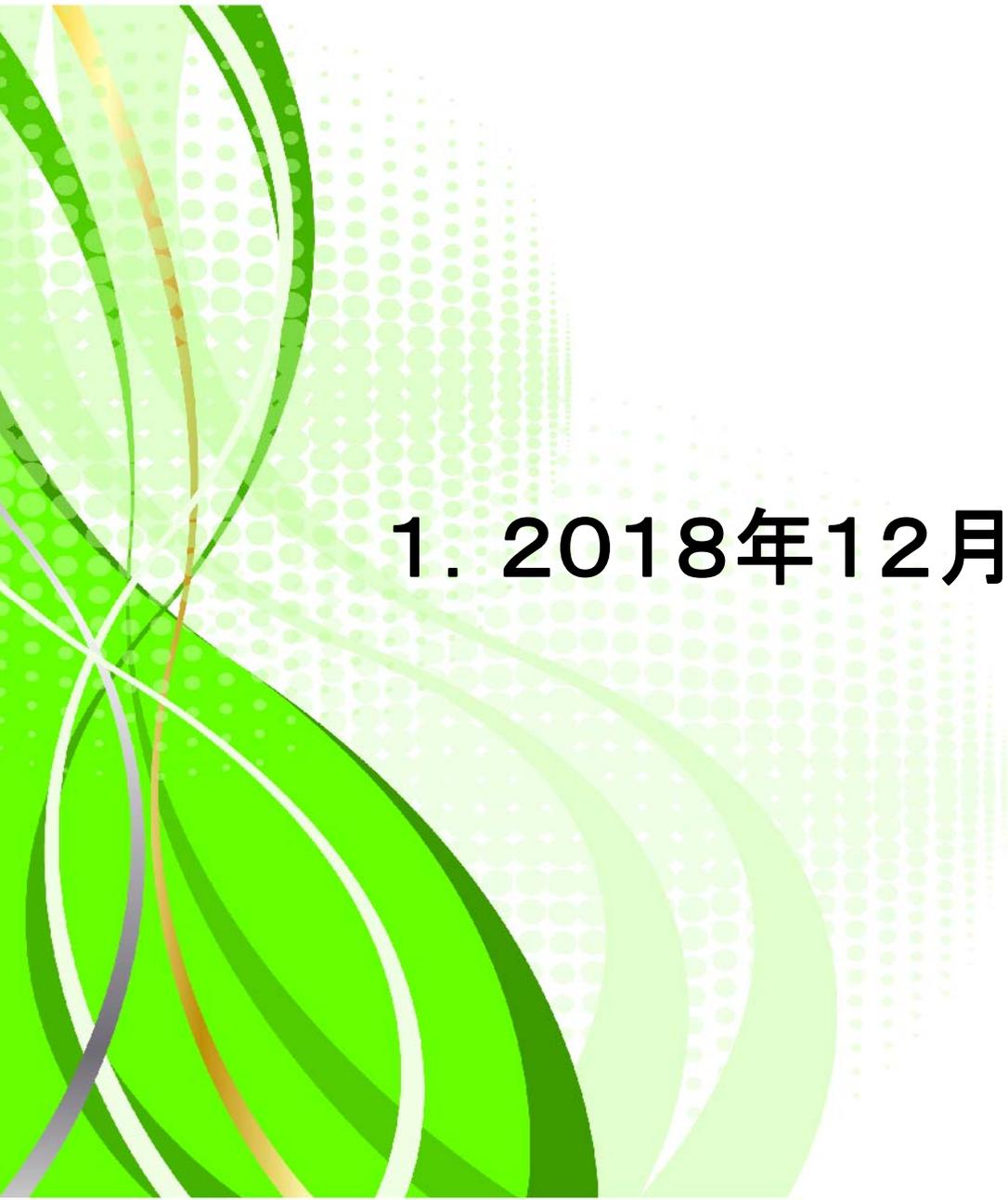
決算概要

2019年2月8日
株式会社 正興電機製作所

1. 2018年12月期 決算ハイライト
 - (1) 2018年12月期 連結業績
 - (2) 配当金について

2. 2019年12月期 業績見通し

3. 2018年12月期 決算内容
 - (1) 連結損益計算書
 - (2) セグメント別業績
 - (3) 連結キャッシュフロー計算書



1. 2018年12月期 決算ハイライト

1. 2018年12月期 決算ハイライト

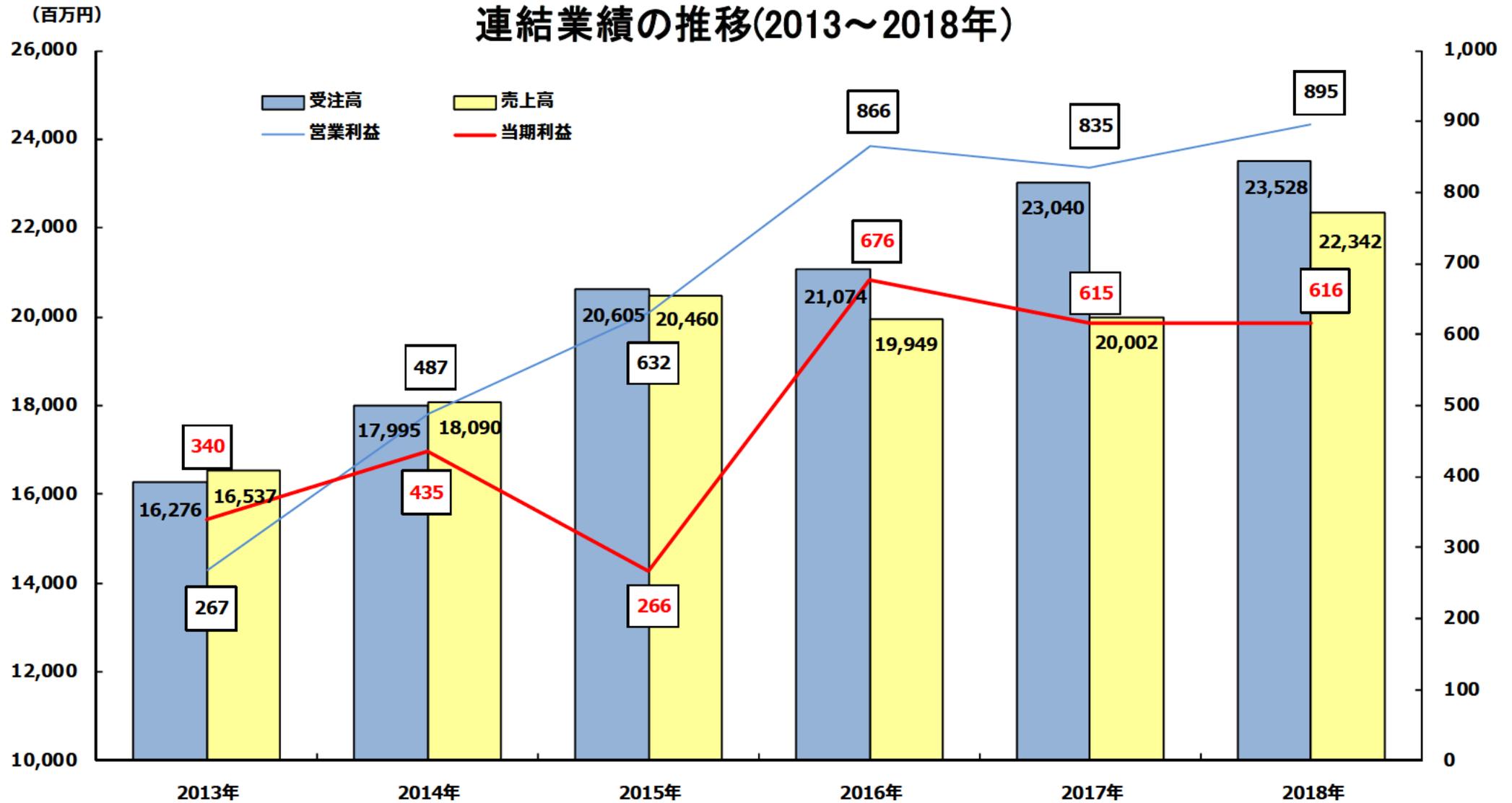
(1) 2018年12月期 連結業績

- ✓ 売上高は電力部門や環境エネルギー部門（公共分野）、サービス部門が堅調に推移し増加。
- ✓ 営業利益についても電力部門、情報部門、その他部門が堅調に推移。
- ✓ 連結業績は増収増益。

単位：百万円

	2017年12月期	2018年12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	20,002	22,342	2,340	11.7%
営業利益	835	895	60	7.2%
経常利益	877	943	65	7.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	615	616	0	0.1%

(参考) 連結業績の推移

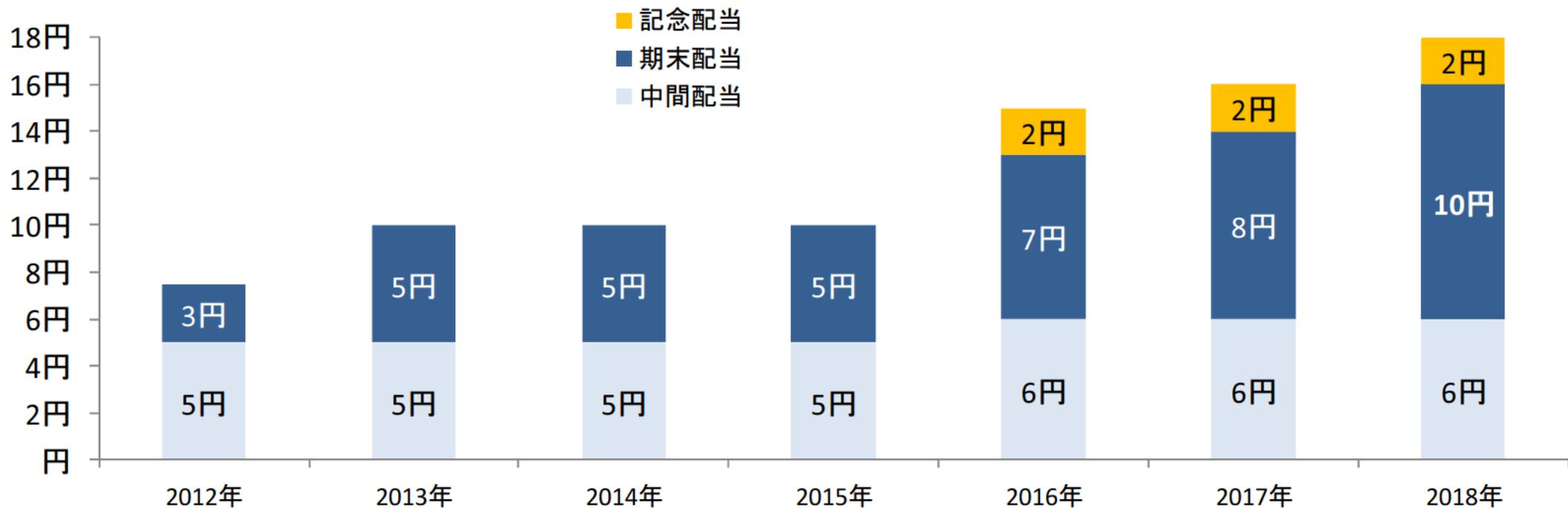


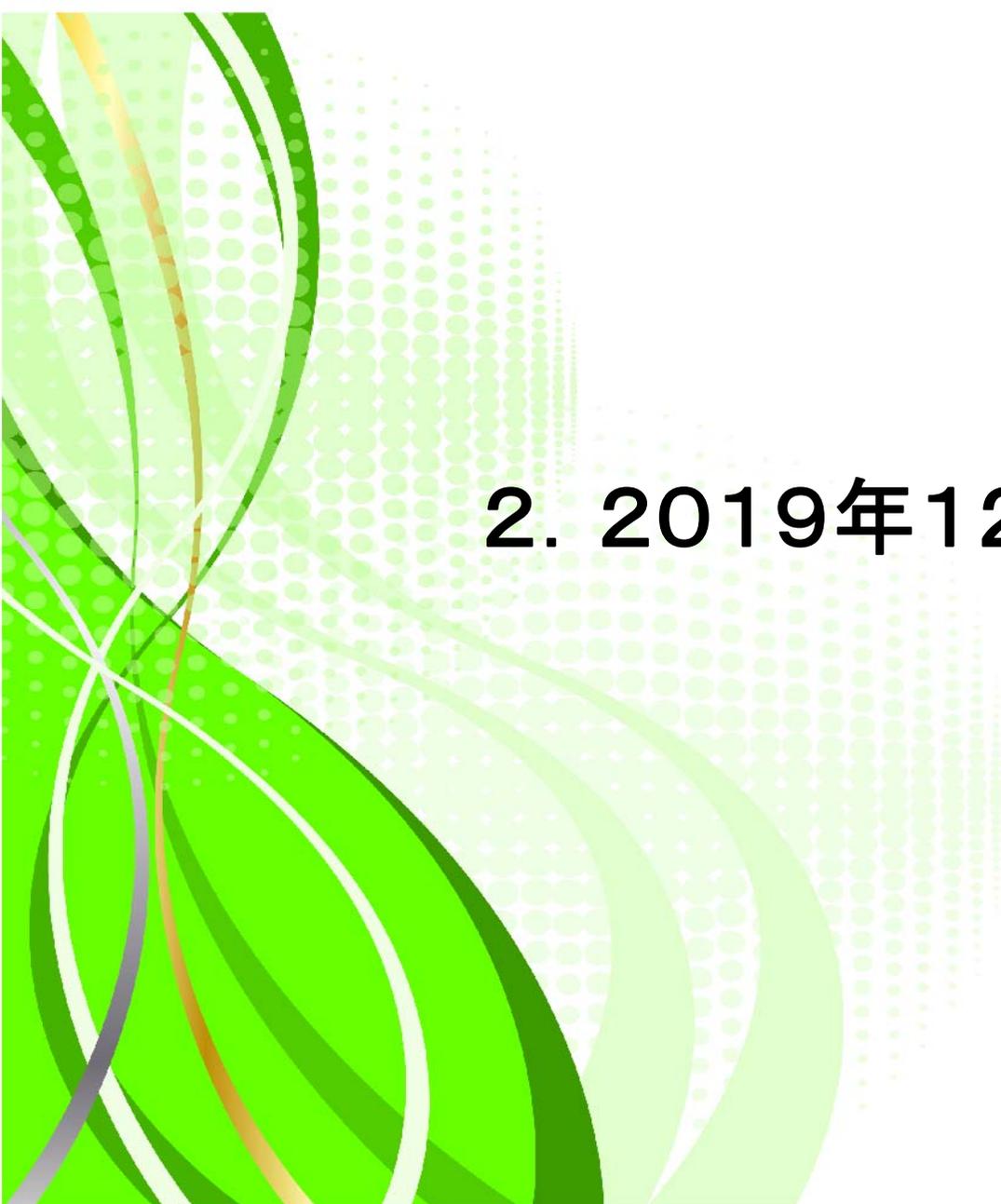
(2) 配当金について

	2018年12月期			2017年12月期(参考)		
	中間配当 (実績)	期末配当	年間	中間配当	期末配当	年間配当
1株当たりの配当金	6円	12円	18円	6円	10円	16円

期末配当:効力発生日 2019年3月12日

(注) 2016年…創立95周年記念配当 2円
 2017年…東証第二部上場記念配当 2円
 2018年…東証第一部 銘柄指定記念配当 2円





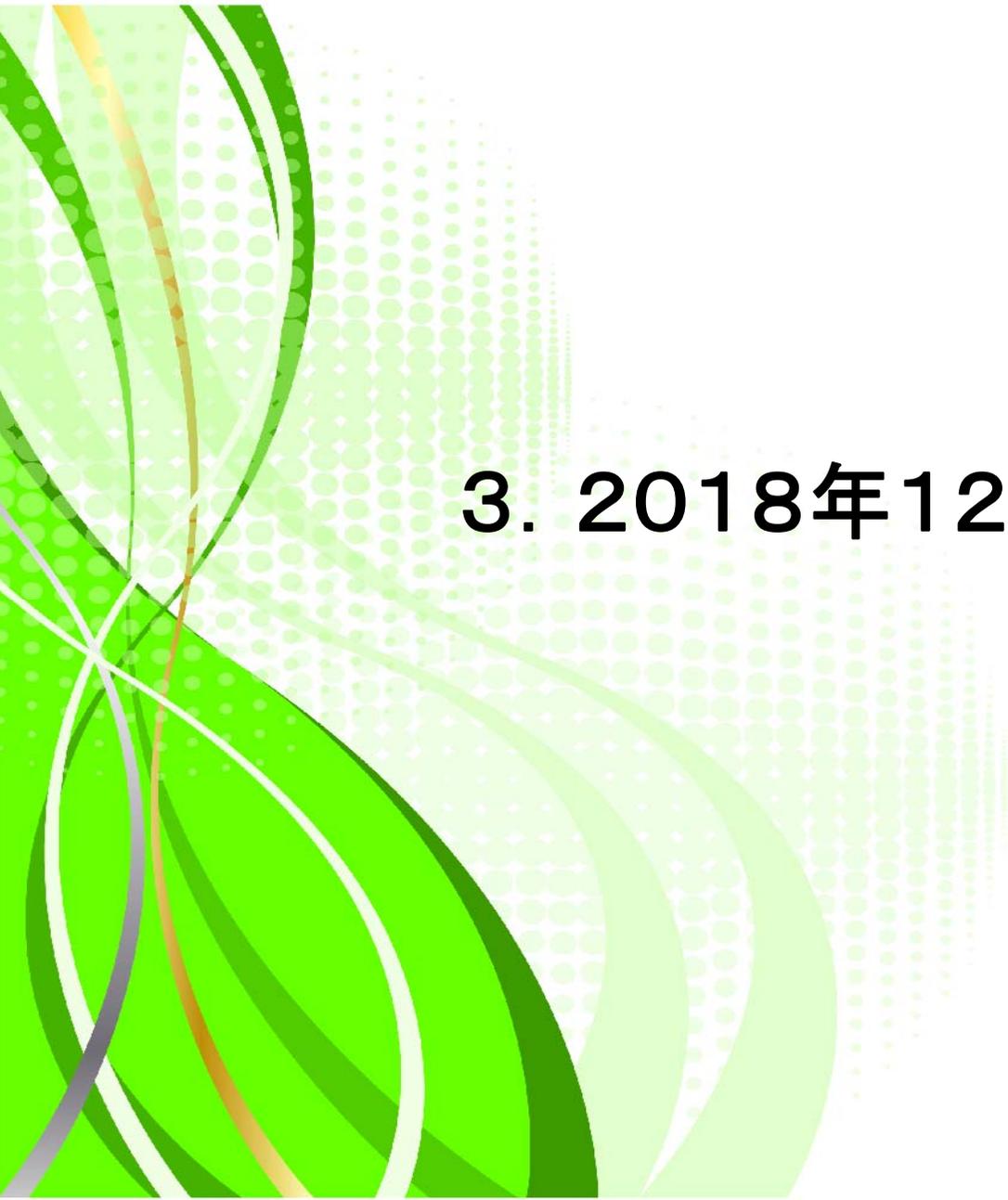
2. 2019年12月期 業績見通し

2. 2019年12月期 業績見通し

【2019年1月1日～2019年12月31日】

単位：百万円

	2018年12月期	2019年12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	22,342	23,500	1,158	5.2%
期首受注残高	13,330	14,504	1,174	8.8%
営業利益	895	1,300	405	45.1%
経常利益	943	1,340	397	42.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	616	900	284	46.0%



3. 2018年12月期 決算内容

3. 2018年12月期 決算内容

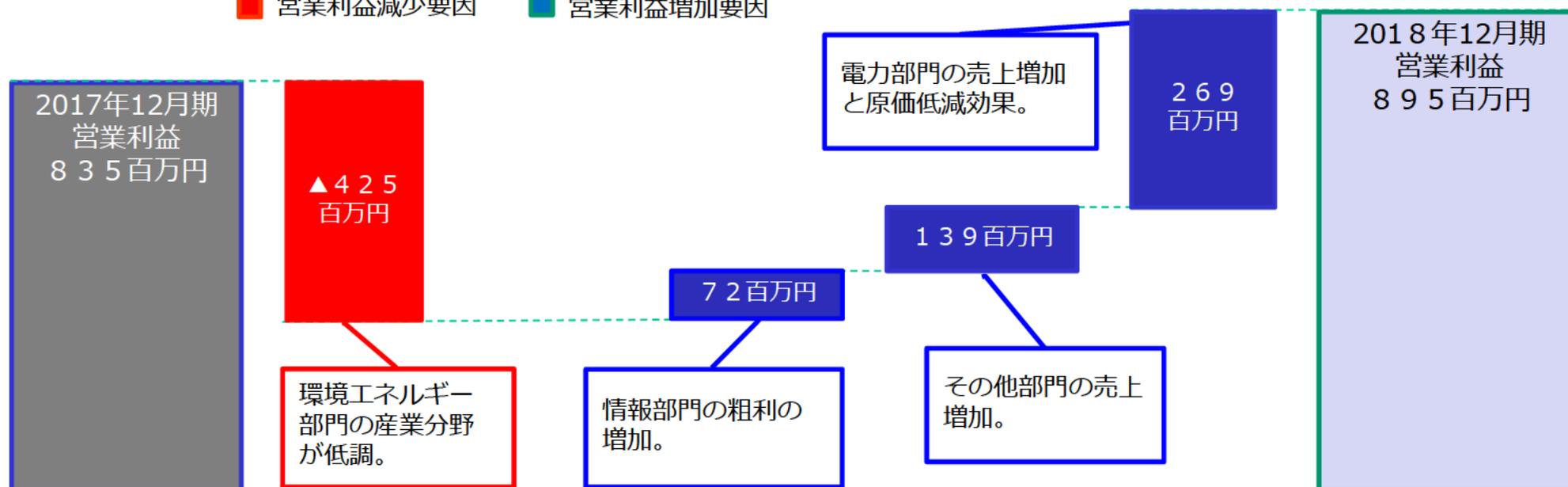
(1) 連結損益計算書

単位:百万円

	2017年12月期	2018年12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	20,002	22,342	2,340	11.7%
営業利益	835	895	60	7.2%
経常利益	877	943	65	7.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	615	616	0	0.1%

● 営業利益増減要因

■ 営業利益減少要因 ■ 営業利益増加要因



(2) セグメント別業績

単位:百万円

	売上高			セグメント利益		
	2017年12月期	2018年12月期	前年同期比 増減率	2017年12月期	2018年12月期	前年同期比 増減額
電力部門	4,334	5,003	15.4%	105	374	269
環境エネルギー部門	11,775	12,147	3.2%	660	235	△425
情報部門	1,019	996	△2.2%	23	95	72
サービス部門	1,546	2,606	68.5%	63	68	5
その他	1,326	1,588	19.7%	△17	122	139

- ✓電力部門** 電力システム改革に対応した情報制御システム(OT・IT)や、配電設備関連製品が堅調に推移し、売上・利益ともに増加。
- ✓環境エネルギー部門** 水処理設備向け監視制御システムや道路設備向け受配電システムが堅調に推移。一般産業向け受配電システムの材料費率や原価率が増加。売上は増加するも利益は減少。
- ✓情報部門** 港湾向け開発案件の受注が下期へずれ込み、売上は減少するも介護認定システムの更新需要等により利益増加。
- ✓サービス部門** 再生可能エネルギー設備向け製品や中国での電気設備および環境設備関連が堅調に推移。前年度受注の大口案件があった影響もあり、売上、利益ともに増加。
- ✓その他** 発電所向け工事や電子製品の増加。また年間を通じ操業度が改善し売上、利益ともに増加。

(3) 連結キャッシュフロー計算書

- ✓ 営業活動によるキャッシュフロー
税引前利益・官公庁向け大口案件の受注による前受金が増加。
- ✓ 財務活動によるキャッシュフロー
新株式発行による収入があるも借入金の返済により減少。

(単位：百万円)

	2017年12月末	2018年12月末	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	△592	838	1,430
投資活動による キャッシュ・フロー	△400	△45	355
財務活動による キャッシュ・フロー	654	△489	△1,143
現金及び現金同等物の期末残高	1,226	1,517	291

(注記)

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。

従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。

実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。